企業の経営に役立つ総合的な情報誌

あきた商工Biz plus

「明るい秋田」を創る
「アイディア企画書」を
募集しています!!

募集中

採用されたら20万円!
詳細はQRコードを
チェック!
締切8月16日まで

チャンスを活かして変化を生み出す

秋田県調査統計課が令和5年12月26日に発表した「秋田県の日本一と全国ベスト3」によると、秋田県はカロリーベースの食料自給率が全国2位であります。

特に水稲の収穫量、大豆、枝豆の作付面積、ハタハタ、ワカサギの漁獲量は全国トップクラスです。

これらの豊富な一次産品を加工して付加価値を高めることは、地域経済へ好影響を与えることが期待されます。

本号では、「一次産品の高付加価値化」に向けた地域の取組や個社支援の事例を特集いたします。

Contents

P.2~3 ブランド化を目指す地域の取組
P.4 地域の垣根を超えた事業者間連携の事例紹介
P.5 秋田県内食料製造業の現状
P.6 県連合会役員新体制

2024年7月発行
Vol.603
秋田県商工会連合会報
奇数月1日発行
発行日／令和6年7月1日
（昭和45年12月3日第3種郵便物認可）

一次産品を活用した地域経済活性化の取組をご紹介します。

地域産品高付加価値化型の独自戦略

地域外向けの商品を開発することを目的に、県内９商工会（※）では、地域産品高付加価値化型の独自戦略に取り組んでいます。

これらの独自戦略で取り上げている一次産品の他に、商工会地域で利用できる可能性がある一次産品が、下表のようにまだまだたくさんあります。

ブランディングを視野に入れた独自の価値をつけることで、更なる地域経済活性化に取り組んでみてはいかがでしょうか。

※県内９商工会・・・北秋田市、大館北秋、上小阿仁村、三種町、湖東３町、にかほ市、仙北市、大仙市、羽後町

商工会地域の代表的な一次産品

地　区	一次産品等
県　北	・かづの北限の桃　・鹿角りんご　・松館しぼり大根　・かづの牛　・鮎　・ししとう　・馬肉 ・大館とんぶり　・比内地鶏　・たけのこ　・ほおずき　・ラズベリー　・秋田杉　・白神山うど ・じゅんさい　・メロン　・白神山水　・白神ラム　・白神まいたけ　・白神りんどう　・八峰しいたけ ・ハタハタ　・輝サーモン　・ギバサ　・梨　・生薬　・あわび
中　央	・ハタハタ　・ギバサ　・男鹿梨　・五城目キイチゴ　・ワカサギ　・北限のとらふぐ　・ダリア　・枝豆 ・りんご　・秋田牛　・秋田由利牛　・鳥海りんどう　・大竹いちじく
県　南	・西明寺栗　・田沢ながいも　・杜仲豚　・ジャンボうさぎ　・横沢曲がりねぎ　・生薬 ・ラベンダー　・湧水　・ホップ　・山内にんじん　・山内いものこ　・三梨牛　・みなせ牛 ・ひばり野オクラ　・桃太郎トマト　・なるせ赤べこ

ブランドとは？

ブランド・マネージャー認定協会の「ブランド」定義を解釈すると、「ある特定の商品やサービスの名称を聞いた時、消費者・顧客が商品そのものや産地を思い浮かべられること」がブランドだと考えられます。

「地域ブランディング」の方法

その地域ならではの良さを識別してもらうため、地域をブランディングするには、地域資源の価値を見出し、その価値を商品・サービス開発に反映していくことが重要と考えられます。

そのためには、様々な立場からアイディアを出し合ったり、技術や材料を持ち寄って取り組んでいく必要があります。

地域ブランディングの効果として、地域経済の土台が構築され、関連商品により、多くの事業者の売上アップや住民の郷土愛につながっていくことが期待されます。

白神八峰商工会の独自戦略
政官財の連携による八峰町の総合力で地域活性化へ挑戦

白神八峰商工会は、「八峰町 町づくりと経済の未来を創る協議会」を設立し、八峰町のグランドデザインや地域活性化に向けた独自戦略に取り組んでいます。
その中で「経済活性化漁業部会」が、漁業の活性化に取り組んでいる事例を紹介いたします。

「経済活性化漁業部会」とは

八峰町の若手漁業者がメンバーとなり、漁業振興に向けた地域課題解決に取り組む部会のこと

協議会
- 経済活性化
  - 漁業部会
  - 商業部会
  - 農業部会
- 交流人口増加部会
- 住環境整備部会

経済活性化漁業部会が目指す、未来の漁業と地域ブランドのビジョン

経済活性化漁業部会は、岩館漁港で養殖されたサーモンを「輝（かがやき）サーモン」と名付け、地域の象徴となるよう取り組んでいます。

なぜ養殖に挑戦したのか？

● 漁業の現状

八峰町は、八森漁港、岩館漁港を有し「ハタハタ」に代表される漁業の町として栄えてきました。
しかしながら、水産資源の減少や、漁業従事者の高齢化・後継者問題、原油価格の高騰や魚価の低迷など、漁業を取り巻く環境は大変厳しいものになっています。

● 最適な環境

八峰町は、白神山地から流れる、きれいで栄養豊富な水質の川があります。
また、八峰町の海と似た環境がある近隣の深浦町（青森県）で、既にサーモン養殖が行われていたことから、当町でも可能性が高いと考えました。

● 漁業振興の可能性

波の影響が少ないため、年配の漁業従事者の安全操業や、悪天候時の収入確保が可能になります。
また、「ハタハタ」に代わるブランド魚として加工業者への好影響が見込まれます。

具体的な取組

- 岩館漁港内で自動給餌機を活用した養殖試験の実施
- イオン東北株式会社との連携により、県内35店舗でサーモン販売
- あわびの里づくり祭りで「輝サーモン」の刺身を振舞うPRイベントの実施
- 国（水産庁）へ「岩館漁港における養殖生産拠点の早期実現」の要望書を四者（八峰町・八峰町議会、秋田県漁業協同組合、商工会）で提出

「輝サーモン」を活用した地域経済活性化

「輝サーモン」を使った商品を地元の食堂で提供することができ、地元販路は確立しつつあります。
今後は地域外の販路開拓のため、全国のバイヤーや高級料理店・ホテル等へ働きかけていきます。

地域の垣根を越えた 上小阿仁「食用ほおずき」プロデュース

県連合会主催の「事業者間連携セミナー」をきっかけに、商工会の枠を超えて事業者同士が協力し、商品開発に取り組む事例をご紹介します。

\ 今回ご紹介する会員は… /

たじゅうろう農園
代表者　鈴木　孝明さん
事業内容　食用ほおずき生産販売
所在地　上小阿仁村

伊藤謙商店
代表者　伊藤　孝義さん
事業内容　酒小売業
所在地　能代市二ツ井町

菓子工房エスポワール
代表者　菊地　整さん
事業内容　パン・菓子製造業
所在地　藤里町

きっかけ

令和５年10月、たじゅうろう農園の鈴木さんは「食用ほおずき」を活用した新商品のアイディアを求め、「事業者間連携セミナー」に参加しました。

セミナーで「酒漬けのイチゴのお菓子」の例を知り、「食用ほおずき」でも可能ではないかと思い、セミナー参加者の伊藤謙商店と講師の菓子工房エスポワールに相談しました。

協力に至るまで

たじゅうろう農園（食用ほおずき）
規格外の「食用ほおずき」を活用した新商品を開発することで、収益とブランド力の向上を図りたい。

伊藤謙商店（どぶろく）
人口減少やコロナ禍で客足が減り、売上・収益減少への対策が必要だと感じ、新商品を開発して販路拡大したい。

菓子工房エスポワール（菓子製造技術）
自社の菓子製造ノウハウを活かした新商品を開発し、ブランド力の向上を図りたい。

２社の商品の色や風味を活かして、バターサンドとマドレーヌの試作を行った

事業者の声　たじゅうろう農園　代表　鈴木　孝明さん

「食用ほおずき」はスーパーフードのひとつとされ、サラダやヨーグルトへのトッピングやジャム、ドライフルーツで食べられています。

そのような「食用ほおずき」をもっと食べやすく、また買いやすくするために、加工品としての可能性を手探りしているところです。

今回の事業者間連携では、仲間と話し合って新商品を考えることで、洋菓子だけでなく、ほおずきの発酵シャーベットや甘酒など、いろんな意見を試すことができ、面白いと感じています。

商工会の声　上小阿仁村商工会　若狭　亮　事務長

たじゅうろう農園は、農商工連携の認定を受けた事業所で、連携の効果、メリットについて熟知しており、意欲も旺盛であることから、セミナーへの参加を呼びかけました。

始めは連携先の情報が不十分であったため、事業者の思いはあるものの、一方通行となってしまうのではとの懸念がありました。しかし、３者協議の場でそれぞれの考え方を整理したことにより、お互いに新商品の意見を出し合って進めることができています。

今後は、商品開発及び販売に向けて、３者の費用負担、販売計画及び原材料の生産計画、プロモーション等について検討していく必要があります。

その過程で、課題も多く出てくると思うので、３商工会、県連とのチーム支援で取り組んでいきたいです。

ここでは、皆様の経営に役立てていただけるよう、各種調査結果から読み取れる今後の経営環境の変化等について、お知らせいたします。

秋田県の食料品製造業の現状について

このページでは、県内の食料品製造業の現状を分析しました。

農業産出額及びカロリーベースの食料自給率について

・米の産出額は、東北1位、全国3位であり、野菜やいも等を含めた合計産出額は全国19位です。
・カロリーベースでは、東北1位であり、全国2位です。

※ カロリーベースとは
人が生きていくために必要なエネルギー量で換算したもの

※ 食料自給率とは
食料の国内消費に対する国内生産の割合を示したもの

図１　東北六県農業産出額及びカロリーベースの食料自給率

都道府県	米		合計		食料自給率	
	産出額（億円）	全国順位	産出額（億円）	全国順位	自給率（%）	全国順位
青森県	405	12	3,168	7	120	4
岩手県	468	9	2,660	11	108	6
宮城県	630	5	1,737	18	72	11
秋田県	852	3	1,670	19	204	2
山形県	689	4	2,394	13	147	3
福島県	589	7	1,970	17	75	10

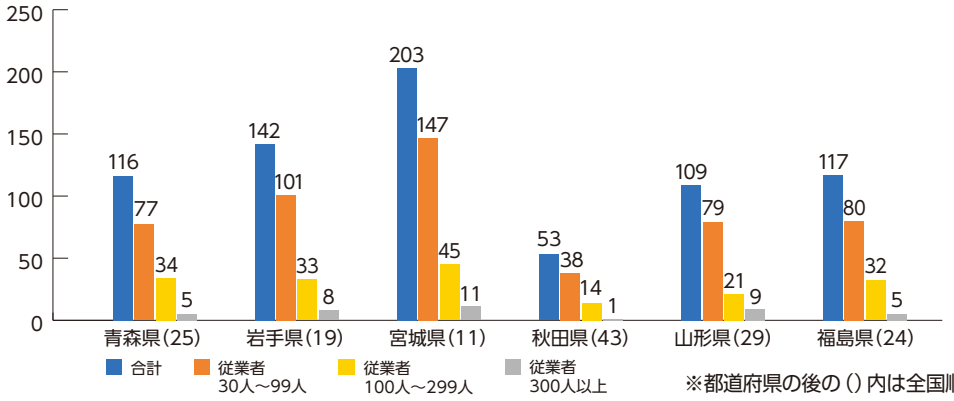
※ 農林水産省「令和３年都道府県別食料自給率」、経済産業省「令和４年経済構造実態調査結果」を参照して作成

食料品製造業の事業所数と産出額について

食料製造業の事業所数分析（図２）
・従業員が30人以上の事業所数合計は、東北最下位、全国43位です。
・従業員が300人以上の事業所は、県内に1つしかありません。

食料製造業の産出額分析（図３）
・出荷額、付加価値額において東北最下位、全国44位と低迷しています。
・付加価値額は、東北5位の青森県の3割以下となっています。

図２　東北六県従業員規模別食料製造事業所数



※都道府県の後の（）内は全国順位

＜食料製造業例＞
・畜産食料品
・乳製品
・野菜漬物
・調味料
・菓子
・冷凍水産物　等

図３　東北六県食料製造業の産出額

都道府県	出荷額		付加価値額	
	百万円	全国順位	百万円	全国順位
青森県	318,785	29	77,243	35
岩手県	327,031	28	101,638	27
宮城県	541,277	16	175,864	17
秋田県	71,282	44	20,894	44
山形県	290,017	30	91,405	30
福島県	245,448	33	78,518	33

※出荷額とは
売上の総額

※付加価値額とは
生産した商品において、原材料費や経費などの生産要素を差し引いた純利益の総額

まとめ

・カロリーベースの食料自給率は、全国で2位と高い自給率にもかかわらず、食料品製造業では、大規模な事業所は、ほとんどありません。
・食料品製造業では、出荷額、付加価値額の水準が全国44位と低い状況です。
・食料品製造業が付加価値を高めることは、秋田県経済の発展に貢献することが期待されると考えられます。

お知らせ

秋田県商工会連合会役員新体制のお知らせ

５月21日（火）に「令和６年度通常総会」が開催され、次のとおり役員改選が行われました。

会 長

白神八峰商工会
大森 三四郎（再）
（大森建設㈱）

副会長

大館北秋商工会
吉原 秀吉（新）
（㈱吉原鉄工）

由利本荘市商工会
佐藤 久美（新）
（さとう建築設計事務所）

ゆざわ小町商工会
佐藤 正明（新）
（㈱YOSUKEホールディングス）

専務理事

秋田県商工会連合会
柳田 高人（再）
（員外）

理 事

かづの商工会
大里 恒明（新）
（㈱大里恒三商店）

北秋田市商工会
藤岡 茂憲（再）
（有藤岡農産）

二ツ井町商工会
菊池 豊（再）
（菊東自動車整備㈱）

三種町商工会
田中 洋平（再）
（田中建設㈱）

藤里町商工会
細田 誠（新）
（有細田土木）

男鹿市商工会
諸井 秀樹（新）
（㈱諸井醸造）

潟上市商工会
千田 清隆（再）
（㈱千田佐市商店）

河辺雄和商工会
木村 昌永（新）
（㈱木村建材店）

にかほ市商工会
齋藤 聡（再）
（仁賀保電機工業㈱）

仙北市商工会
櫻田 賢太郎（新）
（樹の下や よしなり）

大仙市商工会
長澤 典雄（新）
（有福寿）

よこて市商工会
深澤 重俊（新）
（㈱フカサワ）

羽後町商工会
柴田 知之（再）
（㈱柴田久吉商店）

東成瀬村商工会
古谷 秀克（再）
（大橋建設㈱）

監 事

県青年部連合会
安藤 雄介（再）
（㈱安藤醸造）

県女性部連合会
伊藤 まり子（再）
（有横堀自動車）

上小阿仁村商工会
佐藤 真二（再）
（KSウッドソリューション㈱）

湖東３町商工会
湊　一（新）
（湊精肉店）

美郷町商工会
檜森 吉裕（新）
（㈱ミサトマルシェ）

広 告

商工会員だけの大きな特典
商工会が提案する４つの安心サポート
商工貯蓄共済
経営指導 経営のトータルサポート
生命保障 万が一に備えたリスク管理サポート
資金繰り 企業の資金繰りサポート
貯　蓄 資産の充実サポート
どちらも月々2,000円から

あなたも家族もまるごと守る！
頼れる補償の商工会の福祉共済
全国商工会会員福祉共済
「けが」の補償
「病気」の補償
「がん」の補償

VEGETABLE OIL INK ※この紙は再生紙を使用しています。
発行所／秋田県商工会連合会　〒010-0923 秋田市旭北錦町１番47号秋田県商工会館内　電話／018－863－8491㈹
購読料／１部10円（会費に含む）